

令和2年度 第2回教育課程編成委員会資料

資料第1号

学校名：大阪府柔道整復師会専門学校

委員の先生方のご意見まとめ

① 教育の具体的な目標 Key word:「社会が求める人材、時代を生き抜く力の育成」

学生さんは全員ではありませんが夢や希望を持って専門学校へ入学します。しかし、その夢や希望を実現するための方法や戦略はあまり考えていないのが現状です。学生さんの保護者の皆様とお話をして感じるのですが、専門学校に入り資格さえ取得すれば希望は叶うという漠然な妄想をお持ちのようです。しかし現実はそうではありません。そこで本校では可能なかぎり、夢の実現に向けての「心のあり方」と「目標達成のためのスキル(技術)」を身に付けてもらうことを目標とし教育カリキュラムを少しずつ変更したり、新しい取り組みを採用したりしています。さらに、初等教育や義務教育現場で、競うことや叱られる環境にいたことがない学生さんが多くなってきている昨今、一方的に与えられるだけの環境では、考えることをあまりせずに過ごし、与えてもらうことが当然という考えの学生さんが多くみられるようになりました。社会がそうさせている現状もありますが、就職してからはその考えでは乗り切れません。ドロップアウトや、社会に出てからの離職を軽減させる対策として、教育方法を見直しグループディスカッションやアクティブラーニングを取り入れながら、課題に対して自らで考え行動し、解決方法を自分達で考える自己解決能力を身に付けてもらうことを目標とした教育を積極的に行っています。

② 令和2年度教育で取り組んだ内容

1年生では、早期臨床実習体験(アーリーエクスポージャー)を実施し、医療人となる覚悟と、進学した後の頃の医療人になるという気持ちの維持継続、医療や健康に対する関心を強化することを主眼にした教育をしています。患者さんを通して、当事者の立場で物事を考え将来専門的職業人となる意識高めてもらうことを目指して頂くための内容です。早期臨床実習体験では、後半には自分自身で整骨院での「体操教室」の運動プログラムを計画し、患者さんの前で自分がお手本となり患者さんへ運動指導するまで実践させています。このことは、後の学習への動機づけや自己学習態度を身につけることを結果として求めています。2年生では、グループディスカッション、グループで与えられたテーマについて議論し発表するという授業を行います。また3年生では、グループワークとして、グループで研究テーマを考え実験し、論文を書いて学会で発表するという内容の実践行動を求める授業を行っています。また、3年生では健康づくり運動の実際という実技授業で、集団の前に自分が立ち、その集団に対して有酸素運動とレジスタンス運動を運動指導するという実践型の実技授業を展開しています。これらの授業の導入は、自分が何が出来るのかを考えさせ、出来たという達成感とその経験から、自信をもって次の目標(国家試験合格・就職活動)に向かってもらえることを結果として求めています。

③ 現在の問題・課題など

現在、就職前の4年生には厚生労働省委託授業である、労働問題に関する講義を弁護士さんから学ぶ講座を受講してもらっていますが、過重労働で亡くなった遺族の話が中心で少し内容に偏りがあります。今後はもう少し偏りのない内容で、将来に直接つながる労働関係法規などを中心に行って頂くよう授業を調整したいと思っています。また、今年はコロナの影響で、人体解剖学見学実習が行えず、来年に新3年生と新2年生が合同で行うこととなりました。また、4年生の臨床実習4である病院見学実習も8月に行えず、年明けの2月に変更を余儀なくされました。他にも今年はコロナの影響で、大阪マラソン救護実習、大阪学術大会、日本柔道整復接骨医学会学術大会での学生発表も中止になり、学生さんの実習や単位修得に関し影響が出ました。無料Zoomを使ったオンライン授業にも限界があり、今後同様の自粛等が要請された場合にどうすべきかが課題になっています。

④ 企業委員様からの具体的な提案やご意見 (会議にてお伺いしたいと考えております。)

- ・授業形態として今後オンライン授業は必須であるので、Zoom契約は予算化しておく必要があると思います。
- ・感染防止のために教育現場で授業として方策を組み込んだ方が良いと思います。
- ・臨床実習、臨地実習により離職につながらない様指導することが望ましいと思います。